

2024/25 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区 第 4 グループ

市原ロータリークラブ会報



事務局 袖ヶ浦市椎の森 385 - 21 株式会社リプラス内

例会場 淡粋

● 司会進行

S AA/宮武委員長・檜垣副委員長

会報担当/ 川島事務局

●点 鐘 上野聡 会長

●ソング 君が代・奉仕の理想・4つのテスト

●お客様 特定非営利活動法人BUMP-UP潤間様

● 会長挨拶 上野聡 会長

皆様、こんにちは。今日は、市原ロータリークラブ

6月第一例会に多くの会員の皆様、地域社会貢献基金採択団体

の【BUMP-UP】潤間様、ようこそお越しくださいました。ありがとうございます。さて、本日の例会は、5月22日の例会に続き、地域社会貢献基金をご利用いただいたBUMP-UP様よりご報告をいただきます。前回も申し上げましたが、風呂の前里山保存会様、みんなのトイトイ食堂様、BUMP-UP様、どの団体の皆様も素晴らしい活動をしておられますので、今後とも頑張ってくださいと思います。その後、本年度も終わりということで、各委員会の皆様に活動報告をしていただきます。よろしくお願いいたします。そして、都合のいい時だけ使いますが・・・笑、皆様ご承知の通り、6月は、ロータリー親睦活動月間です。いよいよ来週、6月10日、11日、2年振りの親睦バス旅行となります。伊豆長岡温泉、米山梅吉記念館へ25名で行ってまいります。伊豆長岡温泉、泉質はアルカリ性単純泉で無味無臭ですが、肌にやさしく、美肌や筋肉疲労、胃腸病などの効果があると言われています。江戸時代に作成された「諸国温泉効能覧」では、全国の数ある温泉地の中から東の前頭2段と記載されています。初日は、観光後、そんな温泉で心と体を癒し、みんなで楽しくお酒を酌み交わし、親睦を深めたいと思います。翌日、日本のロータリーの創始者、米山梅吉翁をより深く理解するために米山梅吉記念館を訪問します。ここで、米山記念奨学会についてお話しします。

【約8万人のロータリアンが支援】米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。【奉仕の人米山梅吉】米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868-1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。19歳で米国へ渡り、ベルモント・アカデミー（カリフォルニア州）ウェスレヤン大学（オハイオ州）シラキュース大学（ニューヨーク州）で8年間の苦学の留學生活を送りました。帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を”社会への貢献”と



するなど、今日でいうフィランソロピーの基盤を作りました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子どもの教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました。”何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは米山梅吉氏の願いでもあり、ご自身の生涯そのものでした。”他人への思いやりと助け合い”の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかった陰徳の人でした。【世界の平和を願ってーなぜ留学生支援なのかー】

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」――。事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから60年余の歳月が流れましたが、“民間外交として世界に平和の種子を蒔く”という米山奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は、未来に向かって平和の

架け橋をかける尊い奉仕なのです。以上、訪問前のプチ勉強会でした。何より親睦バス旅行で、楽しい旅の思い出ができることを祈念しまして、会長挨拶とさせていただきます。

● 幹事報告 機貝幹事



献血運動をアヅマホールディングス(株)新社屋駐車場にて
アヅマホールディングス会社と共有しまして
市原ロータリークラブの会員多くの方に献血運動を協力
して頂きました。本年度の活動も1か月を切りました。
例会も残すところ1回です。
皆様よろしくお願いいたします。
6月ロータリーレート 1ドル144円です。

●ロータリー日本財団より宮武会員へ寄付の
感謝のしるしとしてバッチが届きました。

● 2025-26 年度幹事 檜垣会員より
7月の予定



● ニコニコ報告

上野会長・機貝幹事・・・今日はBUMP－UP潤間さん、事業報告との事ありがとうございます。
引き続き頑張ってください。来週はいよいよ親睦バス旅行です。楽しんで来ます。

● 本日の司会進行



● 6月誕生日の会員様

中西会員・宮地会員

お誕生日おめでとうございます。



● 例会場 淡粋



● 6月結婚記念日の会員様

中西会員・始関会員・篠田会員・切替会員

おめでとうございます。奥様と仲良く！



● 委員会報告

会員増強・基盤向上委員会より田中会員

6月10日11日と伊豆長岡温泉へ親睦旅行に行っています。



● 本日お客様

【BUMP-UP】潤間様



地域社会貢献基金を頂きまして、プロレスイベントの企画運営にあてさせて頂きました。自分たちは

- ① 児童虐待防止・いじめ防止のPR活動・②→次世代へ引き継ぐための地域での定期クリーン活動
 - ② プロアスリートによる講演会などの実施・④ 災害ボランティア、災害募金活動
- 4つの柱を中心に活動しています。今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。

● クラブ協議会

各クラブの活動報告結果

クラブ管理運営委員会 & S A A



宮武委員長より プログラムについて（活動結果）

市原警察署生活安全課の市原市の犯罪状況卓話、

地区 R L I 吉田委員長、地区財団委員会原田副委員長の卓話、
米山奨学生の卓話、市原市長の卓話、市原市保健福祉部による
孤立孤独対策の卓話、初芝スポーツの社長の卓話等 7 人の外
部卓話をしていただき、2 回以上の目標を達成しました。

それ以外に、市原中央高校 I A C の生徒による活 動報告、
始関会員による地域社会貢献基金設立に

土橋会員、市原会員、中島会員、時田会員、諏訪会員、村井会員、

石川晋平会員、中山会員の 8 人に卓話をしていただきました。

地域社会貢献基金の活動団体（風呂の前里山保存会、みんなのトイトイ食堂、

BUMP－UP）の方にも活動報告をしていただきました。

出席について出席確認は毎回実施できました。メイクアップの奨励までは十分できなかったかも

しませんが、欠席会員への声かけをお願いして、久しぶりに例会に参加する会員もいて良かったと
思います。親睦 各種親睦会は予定通り実施できました。

檜垣会員が毎回座席の配置を工夫してくれました。

S A A として時間配分も調整しながら予定通りスムーズな進行ができたと思います。

委員会として 1 年間で 10 回の委員会を開催し、プログラム案の検討、例会での司会等の役割分担等、委
員の皆さんにご協力いただきました。

当委員会は、当初の目標を概ね達成できたと思います。

会員増強・基盤向上委員会 & 公共イメージ委員会

齋藤光将委員長より

会員増強に関しては、新入会員 3 名が目標でしたが、皆様の協力の
結果 9 名の新入会員の方が入って頂き感謝しております。

親睦夜例会としては、青木隊長、宮坂隊長をはじめとして、60 周年
P V や新会長 T シャツ、忘年会のプレゼント交換など年間 4 回の夜
例会の段取り、企画し親睦を深める例会に努めてまいりました。

親睦ゴルフにつきましては、時田隊長中心に市原中央 RC、袖ヶ浦 RC
との合同コンペ、忘年コンペ、チャリティーゴルフの人集めなど
とりまとめを行いました。

親睦旅行は田中隊長を中心に企画し、6 月 10 日 11 日と伊豆長岡温泉で会員の親睦を深めました。

2 日目米山梅吉記念館を見学し、ロータリアンとして見聞を深めてきたと思います。

公共イメージアップに関しては、S N S 担当は女性会員、根本、土橋会員でフェイスブックを県内随一
の速さで更新しております。会員 19 名それぞれ担当わけをして、会員全員が必ずロータリーの委員活
動に少しでも関わって頂くような形をとりました。1 年間長い名前の委員会のご協力頂き
誠にありがとうございました。



● **ロータリー財団・米山記念奨学会委員会** **本多委員長より**



ロータリー財団の寄付に関しては、現時点で3百90万ほどの寄付が集まりました。米山記念奨学会に関しても1百90万皆様のご協力であつまりました。

米山記念奨学会から米山奨学生孫さんを迎える事ができカウンセラーに平野会員になって頂き奨学金を渡せる事となりました。米山奨学生の卓話も10月米山月間に米山奨学生ヴォテイ スオン 様に卓話して頂きました。ポリオ関連の活動としては10月に市原国分祭りに募金活動を行いました。皆様のご協力のおかげで多くの寄付が

集まりありがとうございました。

● **奉仕プロジェクト委員会** **石井委員長より**



＜インターアクト関連＞

担当事業が前半に集中しましたが、委員会メンバー非常に協力的に行ってくれました。

インターアクト関連については久しぶりの合同BBQ実施、暑い中皆様のご協力で楽しく開催できました。

また、第57回インターアクト年次大会を千葉経済大学にて実施、講師にYOUTUBERの難聴うさぎさんをお招きし、講演を拝聴、手話を学びました。台湾への国外研修を11月に実施、4名の生徒が参加し、貴重な体験をしました。この報告を12月第一例会にて実施しました。＜地域社会貢献基金＞

数年ぶりに地域社会貢献基金を実施しました。市原市社会福祉協議会やボランティアセンターにて告知を行い、本年度は3団体が応募、認定されました。

- ・ 特定非営利活動法人BUMP-UP 児童虐待防止・いじめ撲滅PR チャリティーイベント実施 (八幡小学校 2025.1.18) ・ トイトイ食堂子ども食堂の運営費 いっしょに食べて遊んで楽しもう
- ・ 風呂の前里山保存会カタクリ自生地保護・保全と害獣対策 (2024.11.30)

特に風呂の前里山保存会はロータリーメンバーも事業に参加、共に汗を流しました。本年度途中委員長が入院になりましたが、事前の準備を大槻副委員長がまとめてくださりました。会長、幹事をはじめ委員会メンバーや会員からご指導ご鞭撻並びに沢山のご協力を頂き、誠にありがとうございました。

● **長期計画委員会・環境委員会** **角谷副委員長**



前回宮武会長エレクトが中心となってクラブ活力テスト等を通じて策定した中長期計画が3年経過することを受けて新たな中長期計画の策定に向けて現計画の進捗確認としてこの3年間の活動の成果をもとに協議を行い一部改訂をして次期計画の立案を行いました。更にRI理事会で活動や目標の継続性を重要とする施策の中で推奨されている3-Year Rolling Goalsの設定を各年度の会長・幹事に依頼しMy Rotary上にて3年分の目標設定を行いました。環境委員会としましては地区の環境セミナーへの参加と

今年度クラブの地域貢献基金に応募され採択された「風呂の前里山保存会」の皆さんと一緒にカタクリの自生地の整備事業として寄付金の拠出だけでなく里山の開拓事業にも多くの会員の皆様とともに積極的に参加し地域の環境保全に寄与することができました。

● ラーニング委員会 平野委員長



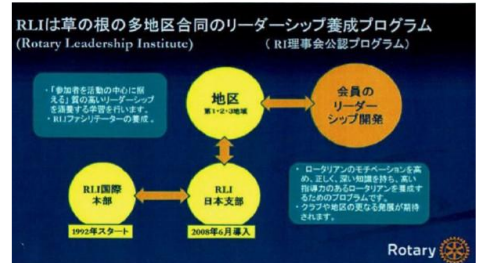
地区委員会から講師を招きました。

● メインプログラム

地区 RLI 委員会卓話 吉田理愛委員長



「ロータリーライフをさらに楽しむために」
自分も訪浦ロータリークラブに入って2年目でRLIパート1に出席しまして、次の年にパート2、パート3に参加しました。経験年数の多い方とディスカッションしてとても刺激になりましたし、ロータリーをもっと勉強しようと思いました。今回多くの方に参加して頂きありがとうございます。



RLI カリキュラム内容	
● 6つのカリキュラム・フレーム ●	
標準カリキュラムセッション	
ロータリーの基礎 ▶私のロータリー世界 ① ▶ロータリーの機会 ② ▶強いクラブを創る ③ ▶規定審議会 ④	リーダーシップ ▶ロータリーにおけるリーダーシップ ① ▶効果的なリーダーシップ戦略 ② ▶チームづくり ③ ▶変化をもたらす ④
奉仕と財団 ▶附属 I 私たちの財団 ① ▶附属 II 目標とする奉仕 ② ▶附属 III 国際奉仕 ③ ▶奉仕プロジェクトを創造する ④ ▶ロータリー-米山記念奨学事業 ⑤	クラブコミュニケーション ▶クラブコミュニケーション ① ▶公共イメージと広報 ②
倫理と職業 ▶倫理-職業奉仕 ①	会員基盤 ▶会員の参加を促す ① ▶会員を勧誘する ② ▶戦略計画とクラブの分析 ③

● 各パートの位置付け ●



パートI ロータリアンとしての私
パートII 私たちのクラブ
パートIII 私のロータリーの旅
ロータリアンとしての成長とロータリー観の確率
卒後のコース
改めてロータリーを学び、ロータリーをさらに深める

RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) とは

ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) は、世界各地の地区に組織された会員地区の他地区合同、草の根レベルの指導力育成プログラムです。

RLIは、最近ロータリー・クラブに入会した会員を含む、潜在的なクラブ役員および他のクラブ会員を対象に、一連の質の高い指導力育成コースを実施しています。コースは、世界中の指導力とロータリーの知識を重視しています。すべてのコースセッションは完全にインタラクティブです。81のRLI地域は、指導力育成が会員の熱意を生み出し、ロータリーへの参加を促進することによって会員維持にプラスの影響を与えると信じています。

日本国内でのRLI活動

日本では2008年6月にRLI日本支部が発足しました。現在では34地区中29地区が積極的に取り入れています。各地区におけるRLI活動は、ガバナーの管理下において、クラブへの支援体制作りを基本にしています。RLI日本支部は、3年に一回開催されるRI規定審議会を経て改定されるテキストを、日本支部RLIカリキュラムチームで日本語に翻訳し日本語版テキストを作製します。またRI研修リーダー経験者を中心に編成された、日本支部RLI地区支援チームによる各地区内研修の要請に応じ情報提供や研修支援をしています。

新入会員研修会

入会3年以下の会員を対象とした研修会となります。

RLIで行ったセッション2「私のロータリー世界」とセッション5「会員の参加を促す」をテーマとして白鳥会員、篠田会員にファシリテーターを努めて頂き、参加会員にフリートークで議論していただく。

2025年3月6日 木曜日 時間：18時～ 場所：懐石料理 淡粋

研修会の参加者は14名

倉見会員 諏訪会員 時田会員 尾崎会員 古川会員 村井会員 石川晋委員 石川卓委員 藤本会員 夏井委員 飛田会員 内田会員 平田会員 土橋会員※研修会のみ

上野会長・磯貝幹事

ファシリテーター

白鳥委員・篠田会員

担当委員会 平野委員長・永野副委員長・木下委員

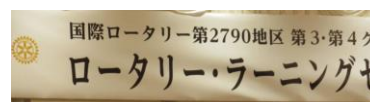
2025年2月20日 (木曜日) 2024-25 国際ロータリー第2790地区 第3・第4グループ合同インターシティミーティング



第4Gガバナー補佐 船木様



2024-25年度 国際ロータリー第2790地区 第3・第4グループ合同 ロータリー・ラーニングセミナー



2024年10月18日
会場三井ガーデンホテル千葉
3階「平安の間」



13:30 点鐘 第3グループガバナー補佐 片山祥吾
13:40 主催者挨拶
13:45 会長挨拶 ホストクラブ 千葉中央RC 木頭孝男会長
13:50 特別講師：テーマ「大人の学び直し」 放送大学学園 高橋道理事長
14:50 質疑応答
15:00 第1部終了